

# かじとりトライク Disney/PLANES プレーンズ

## 取扱説明書



### 目次

①定義とシンボルマークについて . . . . .	P1
②安全上の注意事項 . . . . .	P1
③梱包内容 . . . . .	P2
④各部の名称 . . . . .	P2
⑤組み立て方法	
●シャフト付き後輪の取り付け . . . . .	P3
●後輪の取り付け . . . . .	P3
●ハンドルの取り付け . . . . .	P3
●サドルの取り付け . . . . .	P4
●ステップの取り付け . . . . .	P4
●前バスケットの取り付け . . . . .	P5
●後バスケットの取り付け . . . . .	P5
●エアホーンの取り付け . . . . .	P5
●コントロールバーの組み立て . . . . .	P5
●コントロールバーの取り付け . . . . .	P6
⑥コントロールバーの調節/取り外し方法 . . . . .	P6-P7
⑦ステップの取り外し方法 . . . . .	P7
⑧ロック&フリーの取り扱い . . . . .	P8
⑨ブレーキの取り扱い . . . . .	P8
組み立てチェック表 . . . . .	P9-P10
品質保証書 . . . . .	P11

お買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。この取扱説明書は必ずお読みいただき安全上の注意事項を良くご理解の上、商品をご使用ください。不適切な取り扱いは事故につながる恐れがあります。また、本書をいつでも参照できるように大切に保管してください。

## ① 定義とシンボルマークについて

この取扱説明書では以下のような内容が「警告」、「注意」として記載されています。



### 警告 身体に関する危険

守らないと人身事故が発生したり、創傷や火傷の可能性がある。



### 注意 財物や商品本体に関する危険

守らないと財物や商品本体に損傷の可能性がある。

## ② 安全上の注意事項

### 【ご使用のお客様へお願い】

本商品は公園など、屋外での使用を前提に企画されております。人通りの多いところでは、人にぶつかるなど思わぬ怪我の原因となることもありますので十分ご注意ください。店舗等におけるご使用につきましては、その店舗の運営者にご確認の上、ご使用されるようお願い致します。



- S G マーク制度は三輪車の欠陥によって発生した人身事故に対する補償制度です。
- この商品は S G 基準により安定性、走行性、耐荷重、耐衝撃に合格した商品です。
- ご購入日より二年間の対人賠償責任保険がついていますので、安心してお乗りください。
- 対象年齢：1.5 歳～5 歳未満 身長目安：80 cm～100 cm まで 乗車体重：20kg まで



### 警告



おとなといっしょ



みずにぬらさない



ひにちかづけない

- 初めて乗るお子様は、保護者が使用上の注意を指導し、保護者のもとで遊ばせてください。
- お子様の足は地面およびペダルまたはステップに確実につくことを確認してから使用してください。
- ご使用の際は、必ずお子様に靴を履かせてからご使用ください。裸足で使用すると隙間などで思わぬ怪我をする恐れがあります。
- 坂道での使用は避けてください。
- 交通の頻繁な道路、車両交通の多い場所では使用しないでください。
- 2人乗りなどの危ない乗り方は絶対しないでください。
- 車輪の周囲や回転部分には手や足を入れないでください。
- 斜面および段差のある場所、転落の恐れのある場所では乗らないでください。
- 三輪車は構造上、ハンドルを切ったとき、ペダルを踏み込んだときに転倒することがあるので注意してください。
- お子様を乗せたまま三輪車を持ち上げないでください。
- 幼児の足がペダルにのっている場合、コントロールバーの操作で無理な力を加えないでください。
- コントロールバーで操作する際は過度の荷重をかけたり、急な操作はしないでください。
- コントロールバーとステップは自走できない幼児のための補助具です。自走できるようになりましたら必ずコントロールバーとステップは取り外してください。
- 幼児、子供にコントロールバーを操作させないでください。
- コントロールバーの操作は必ず保護者が行い、幼児の足が巻き込まれないように注意してください。
- コントロールバーを付けた状態で使用するとき、必ずステップを使用し、ロック&フリー機能をフリーの状態にしてください。
- お子様がサドルに立ち上がらないように注意してください。また、コントロールバーに寄りかかると倒れる恐れがありますので十分に注意してください。
- コントロールバーに物をかけたりすると倒れる恐れがあるので、物をかけないでください。
- 業務用・団体用で使用しないでください。
- 三輪車以外の目的では使用しないでください。
- 小さな部品があり、誤飲の危険があります。組み立てや部品の取り外し作業はお子様がそばにいない状態で行ってください。

### 注意

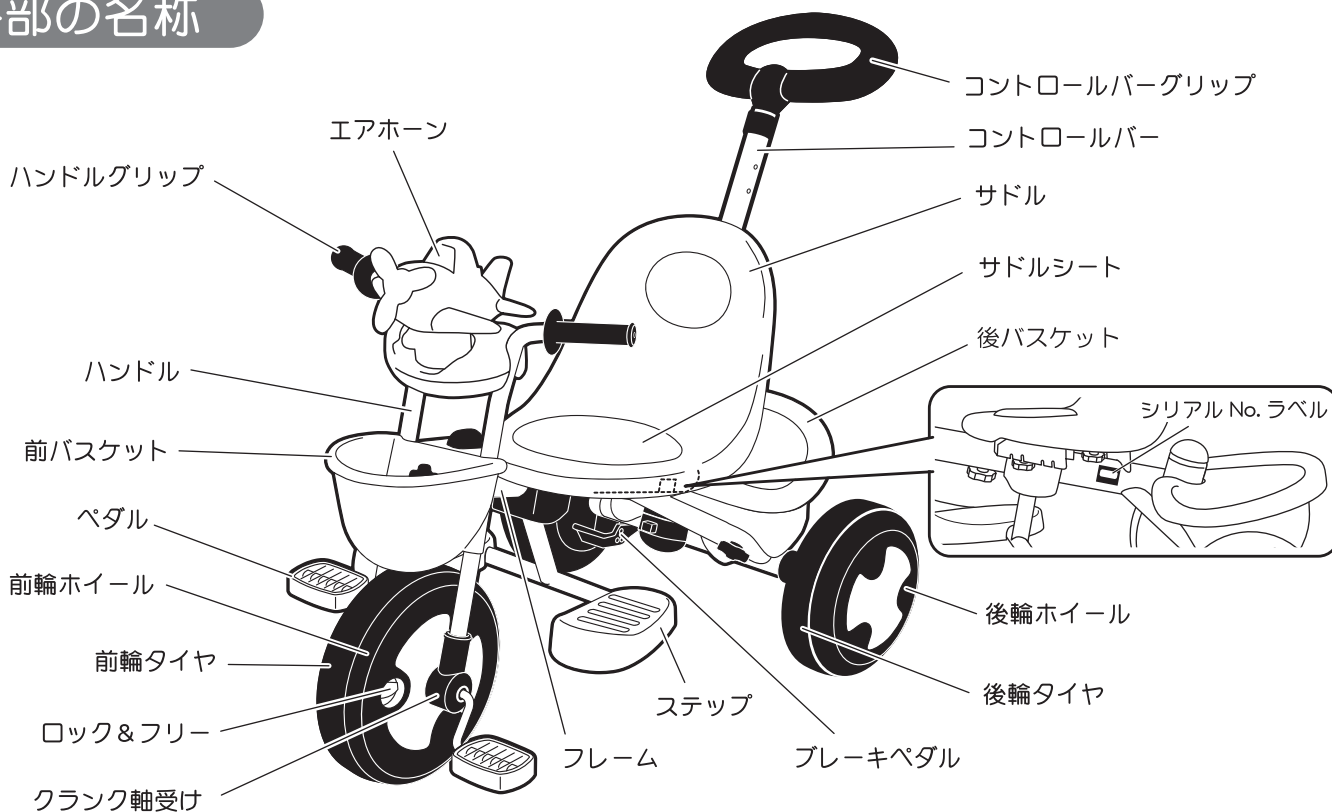
- 使用前には必ず手入れ、点検を行ってください。故障および破損したまま使用しないでください。
- 長い間の使用でネジがゆるむことがあります。お手数でも締め直してください。
- 屋外で使用された後は直射日光を避け、雨ざらしにしないでください。
- 火気のある所、高温の場所には近づけないでください。
- 砂場や水たまりで使用しないでください。

※本書には上記以外にも各操作に応じた「警告」、「注意」が表記しておりますので、そちらもお読みください。

### ③ 梱包内容



### ④ 各部の名称



#### 【材質】

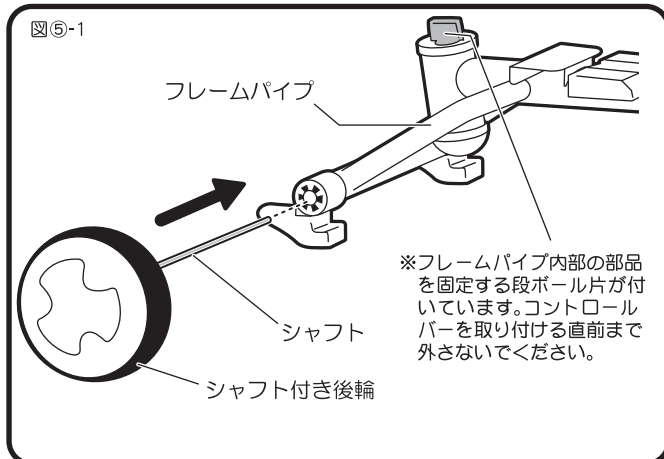
フレーム: スチール  
ハンドル: スチール  
コントロールバー: スチール  
コントロールバーグリップ: ポリプロピレン (PP)  
前バスケット: ポリプロピレン (PP)  
後バスケット: ポリプロピレン (PP)  
サドル: ポリエチレン (PE)

前 / 後輪ホイール: ポリプロピレン (PP)  
ステップ: ポリプロピレン (PP)  
サドルシート: 塩化ビニール (PVC)  
前 / 後輪タイヤ: 塩化ビニール (PVC)  
ハンドルグリップ: 塩化ビニール (PVC)  
エアホーン: 塩化ビニール (PVC) / ABS 樹脂  
エアホーン台座: ポリプロピレン (PP)

## 5 組み立て方法

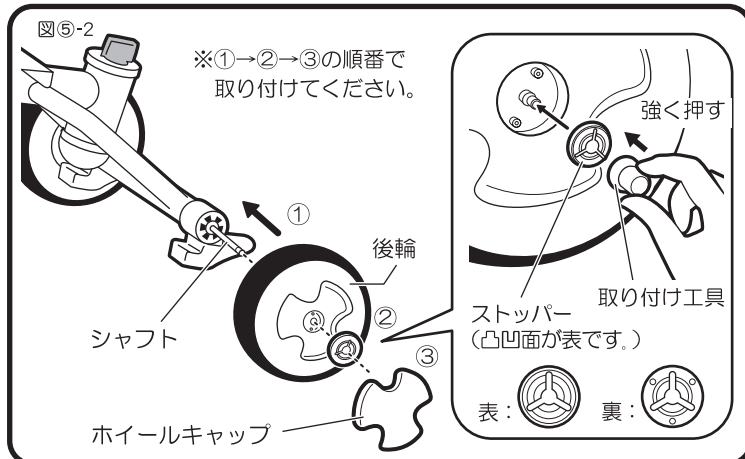
・組み立ては保護者の方が行ってください。  
 ・本書にそって三輪車の組み立てが完了しましたら、【三輪車組み立てチェック表】を確認し、最終チェックを行ってください。お子様が三輪車に乗っている状態でチェックしないでください。

### ●シャフト付き後輪の取り付け



・シャフトをフレームパイプに通します。

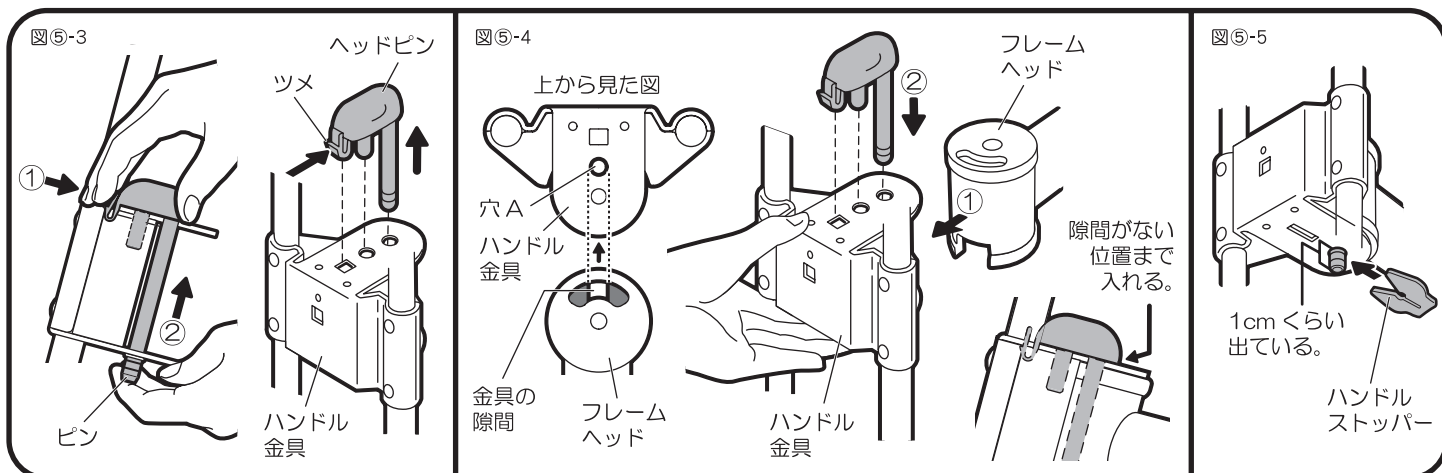
### ●後輪の取り付け



### 注意

- ストッパー取り付け後、後輪を引っ張り、フレームから外れないことを確認してください。
- ストッパーは、一度取り付けると外すことができませんのでご注意ください。

### ●ハンドルの取り付け



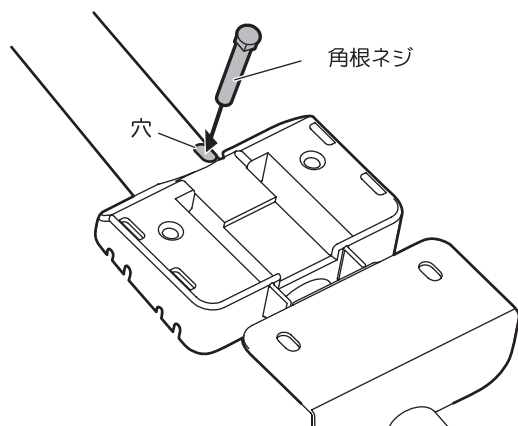
- ・ハンドルを取り付ける前に、ハンドル金具に付いているヘッドピンを取り外します。
- ・ヘッドピンのツメを矢印①の方向に押しながら、ハンドル金具の下部分から出ているピンの先端を矢印②の方向に押し上げ、引き抜いてください。
- ・ハンドル金具にフレームヘッドを矢印①の方向に入れます。
- ・フレームヘッドの長い穴から見える金具の隙間とハンドル金具の穴Aが合うように入れてください。金具の隙間と穴Aがズレているとヘッドピンが根元まで入りません。
- ・ハンドル金具の穴に矢印②の方向でヘッドピンを入れます。その際ハンドル金具の下部分を支えながら差し込みます。下部分を支えないで組み立てようとすると、ハンドル金具が曲がる恐れがあります。
- ・ハンドル金具の上面とヘッドピンに隙間がない位置まで、ヘッドピンが入っているか確認してください。
- ・ハンドル金具下からヘッドピンの先端が1cmくらい出ていることを確認してください。
- ・ピン先端の溝にハンドルストッパーを取り付けます。

### 注意

- ハンドル金具の下からヘッドピンの先端が1cmくらい出ていない場合は正常な組み立てではありませんのでご注意ください。
- ヘッドピンを差し込まない状態で無理な力を加えないでください。ハンドル金具が変形して、ヘッドピンが固定できなくなります。

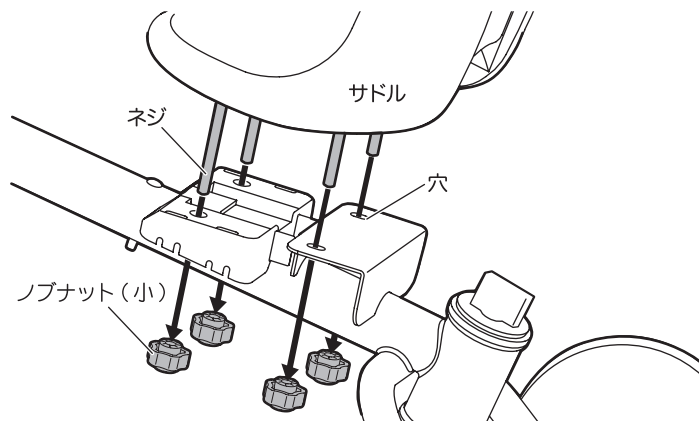
## ●サドルの取り付け

図5-6



- ・角根ネジをフレーム上面穴に差し込んでください。

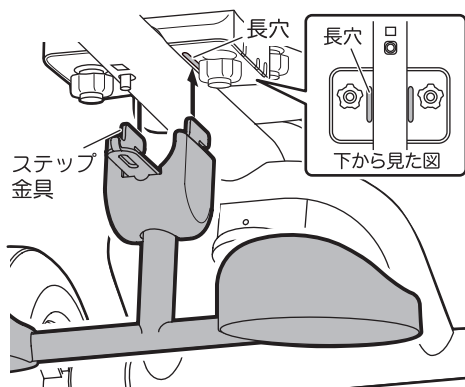
図5-7



- ・サドル下部のネジ4本をフレームの4つの穴に差し込み貫通させてください。
- ・ネジの先端が出たらノブナット(小)で固定してください。

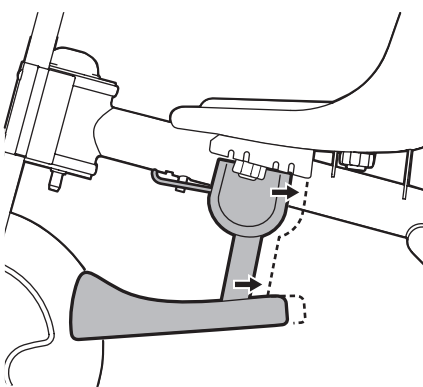
## ●ステップの取り付け

図5-8



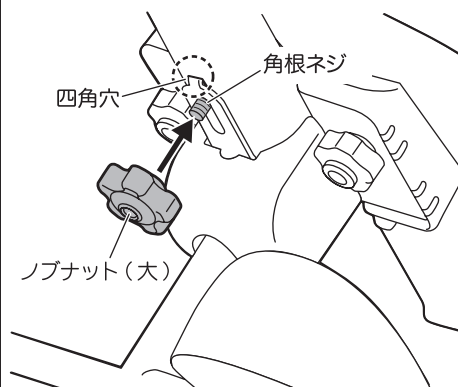
- ・ステップ金具の上端をフレーム金具の長穴に差し込んでください。

図5-9



- ・ステップ金具の上端を長穴に差し込んだ状態のまま、ステップを後ろにずらして引っ掛けてください。

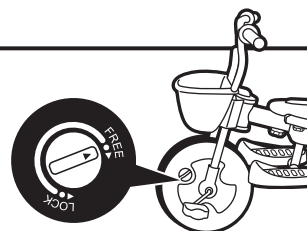
図5-10



- ・フレーム裏側の四角穴にステップの先端を差し込み、角根ネジの先端が出たらノブナット(大)で固定してください。

### 必ず確認してください。

ステップを取り付けてご使用の際は、必ず前輪のロック & フリー機能をフリーにしてください。  
※ロック & フリー機能については8ページ【⑧ロック & フリーの取り扱い】を参照してください。

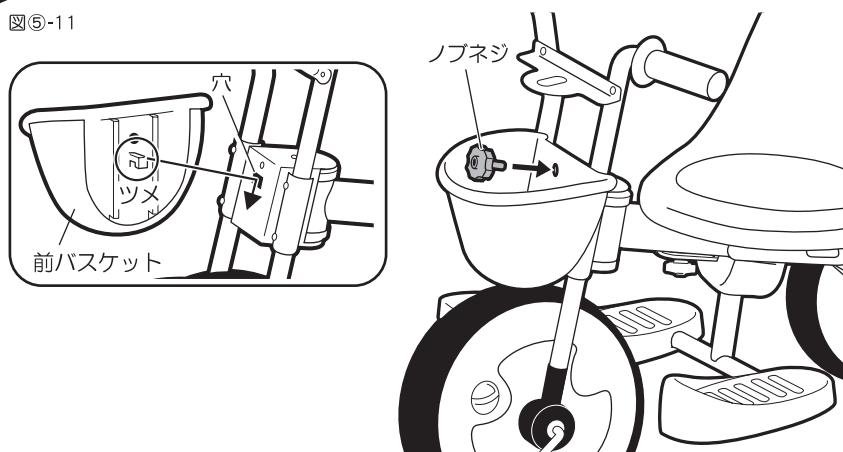


### 注意

- ステップは自走できない幼児のための補助具です。自走できるようになったら必ず外してください。
- ステップの上に立たないでください。ステップは乗り降りするときの踏み台にしないでください。
- ステップ、サドルの取り付けはノブナットでしっかり固定してください。

## ●前バスケットの取り付け

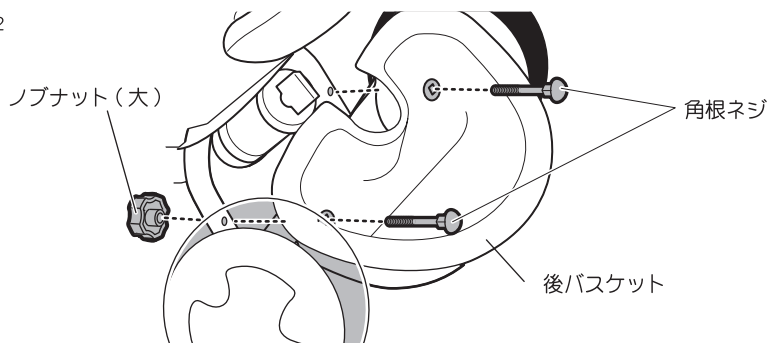
図⑤-11



- ・前バスケット裏のツメをハンドル金具の穴に入れ、引っ掛けます。
- ・ノブネジでバスケットを固定してください。

## ●後バスケットの取り付け

図⑤-12



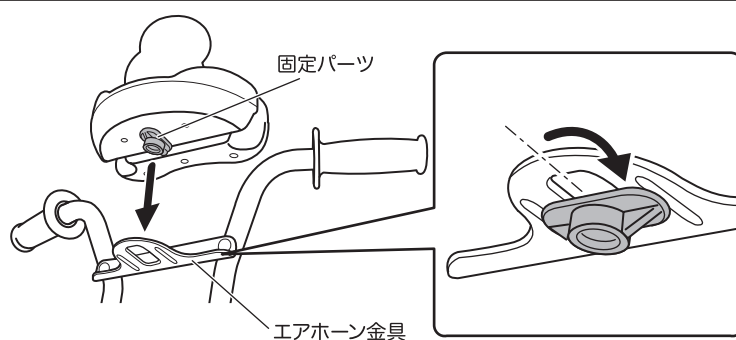
- ・後バスケットをフレーム後部にあてて、角根ネジとノブナット(大)で固定してください。

### 注意

- 小さな部品があり、誤飲の危険があります。組み立てや部品の取り外し作業はお子様がそばにいない状態で行ってください。また、小さな部品の紛失にご注意ください。

## ●エアホーンの取り付け

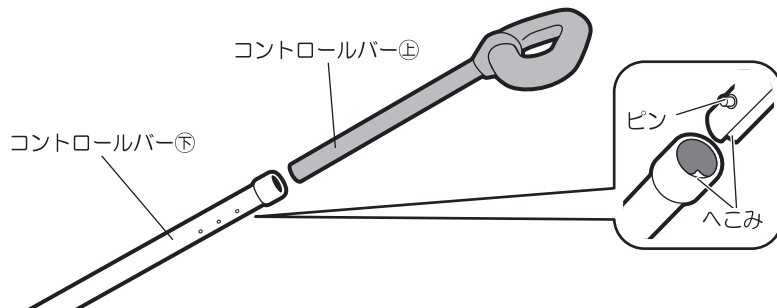
図⑤-17



- ・エアホーンの底面の固定パーツをエアホーン金具の四角穴に入れてください。固定パーツを 90 度回転させて固定してください。

## ●コントロールバーの組み立て

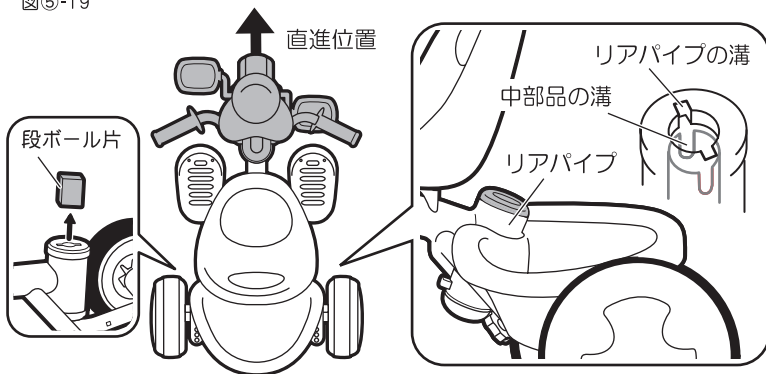
図⑤-18



- ・コントロールバー④のピンを押しながら、コントロールバー⑤に差し込んでください。その際、パイプのへこみ方向を合わせるようにしてください。

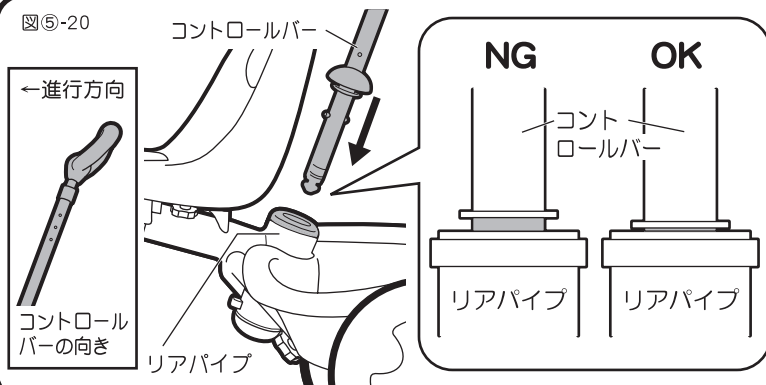
## ●コントロールバーの取り付け

図⑤-19



- ・フレームパイプ内部の部品を固定する段ボール片を引き抜き、ハンドルを直進位置（左右に曲げない）にして、リアパイプの溝と中部品の溝が合っていることを確認してください。溝がズれているとコントロールバーが入りませんのでご注意ください（ハンドルと中部品は連動して動きますので、中部品の溝がズれているときはハンドルを直進位置に動かしてください）。

図⑤-20

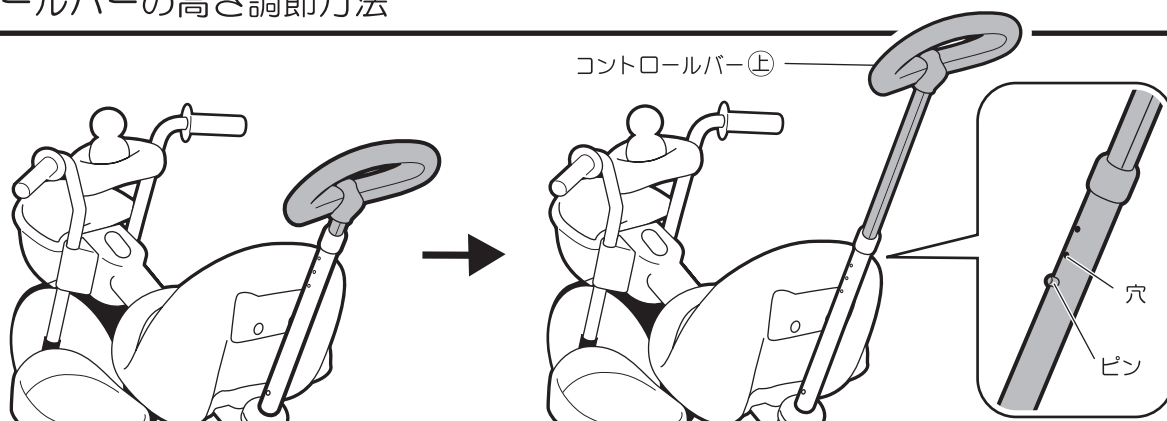


- ・図のような向きでコントロールバーをリアパイプに差し込みます。コントロールバーがリアパイプにしっかりはまったことを確認してください（ハンドルを直進位置にしないとコントロールバーはリアパイプに挿入できません）。差し込んだあと、コントロールバーを上方向に引っ張り、抜けないことを確認してください。

## ⑥ コントロールバーの調節/取り外し方法

### ●コントロールバーの高さ調節方法

図⑥-1



- ・コントロールバーの横穴から出ているピンを押しながらコントロールバー①を上下させ、お好みの高さに調節してください。
  - ・他の高さの穴からピンが飛び出るまでスライドさせてください。
- ピンは必要以上に押し込まないようにしてください。押し込みすぎると、パイプの中に沈み込んでしまう場合があります。

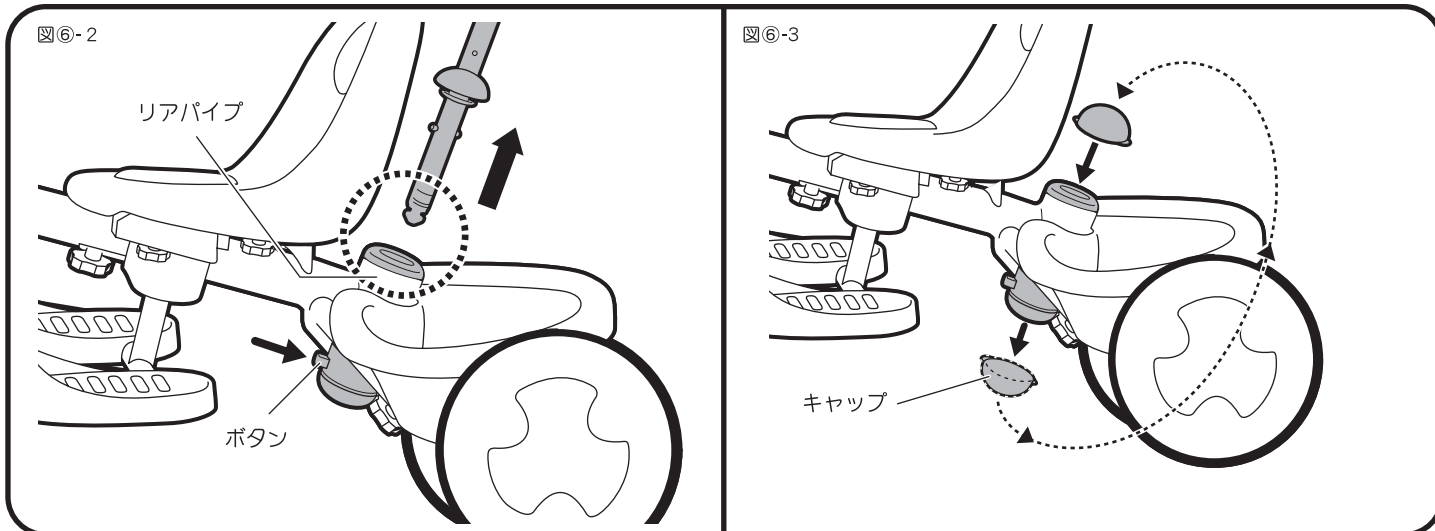
### ⚠ 警告

- ピンが穴から出ていることを確認して使用してください。ピンが出ていないと使用中にコントロールバー①が抜けてしまう可能性があります。
- コントロールバーをご使用の際は、前輪をフリー状態（8 ページ図⑧-2 参照）にしてください。
- コントロールバーのグリップ部分に荷物などを乗せたり、掛けたりしないでください。転倒の恐れがあります。

### ⚠ 注意

- 段差のある場所でのご使用は避けてください。また、壁などにぶつけないでください。
- コントロールバーのかじとり機能には左右にあそびがありますが、設計上のものであり、異常ではありません。

## ●コントロールバーの取り外し方法



- ・ハンドルを直進位置(左右に曲げない)にして、ボタンを押しながらコントロールバーをリアパイプから引き抜きます。ハンドルを直進位置にしないとコントロールバーは抜けません。
- ・リアパイプ下側からキャップを外しリアパイプの上に取り付けてください。

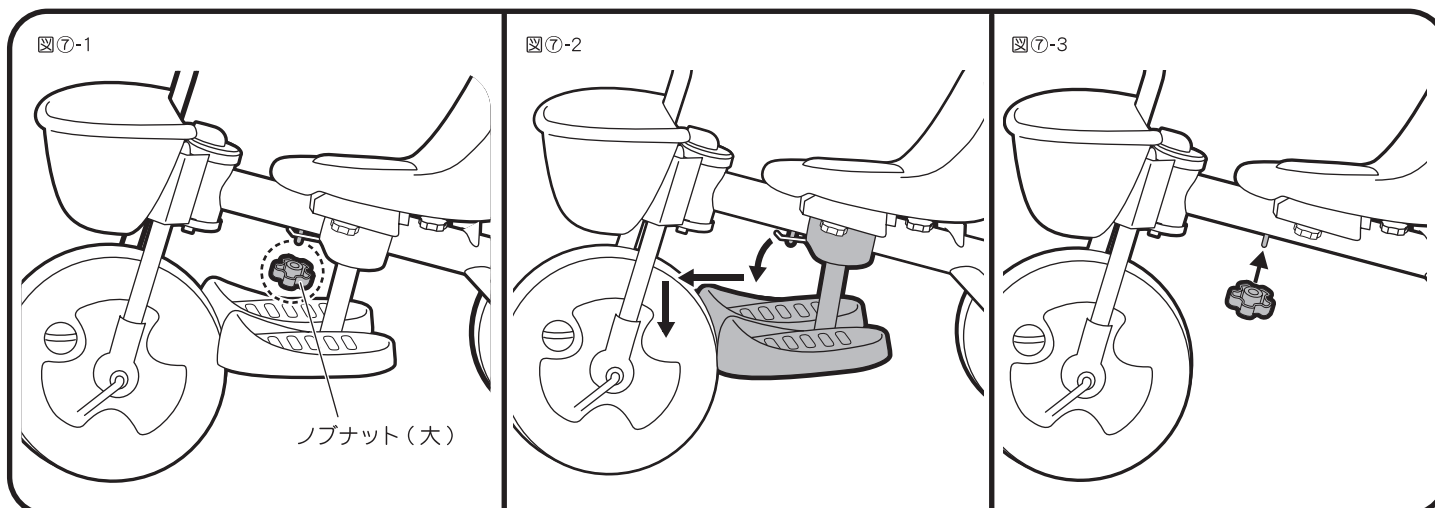
### ⚠ 警告

- コントロールバーを外した後はキャップを必ずリアパイプ上側に取り付けてからご使用ください。キャップを取り付けずに使用するとケガをする恐れがあります。
- 取り外した部品は、お子様の手の届かないところに保管してください。部品をふりまわすなどして思わぬ怪我の原因になります。また小さな部品はお子様が悪く誤って飲み込むなどの事故の恐れがあります。

### 注 意

- キャップの取り外し、取り付けは保護者が行ってください。

## ⑦ ステップの取り外し方法



- ・サドルネジからノブナット(大)を外してください。
- ・ステップを前下方向に傾け、前方へずらし、下へ下げるとステップが取り外せます。
- ・ノブナット(大)を再度サドルネジに取り付けてください。

### ⚠ 警告

- 取り外した部品は、お子様の手の届かないところに保管してください。小さな部品はお子様が悪く誤って飲み込むなどの事故の恐れがあります。

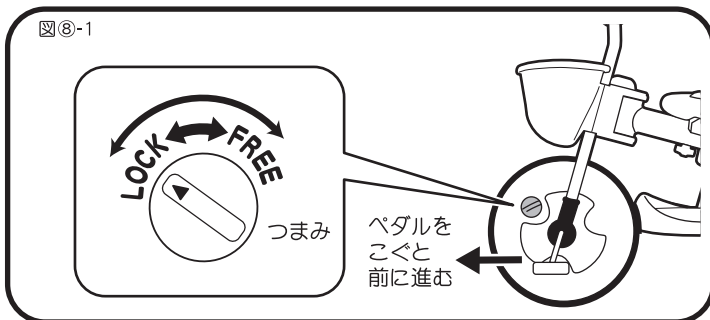
### 注 意

- ステップの取り外しは保護者が行ってください。

## 8 ロック＆フリーの取り扱い

### ●ロック状態

図8-1

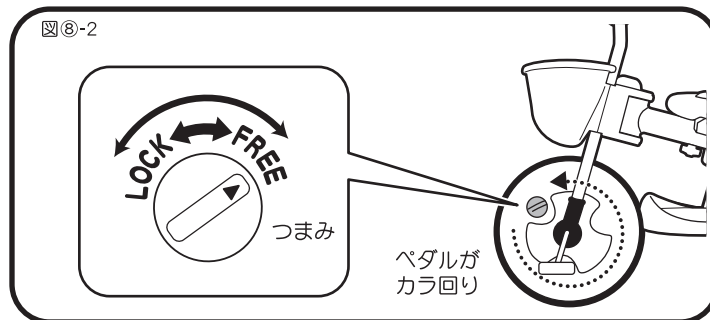


- ・お子様がペダルをこいで使用する場合は『つまみ』の▲印をLOCK(ロック)に合わせてください。

つまみをロックにすると・・・  
前輪とペダルが連動します。お子様自身がペダルをこいでご使用になる場合はこの状態にしてください。

### ●フリー状態

図8-2



- ・保護者がコントロールバーで押す場合は『つまみ』の▲印をFREE(フリー)に合わせてください。

つまみをフリーにすると・・・  
前輪とペダルが連動しません。保護者がコントロールバーの操作を行ってもお子様の足を巻き込むことはありません。

#### フリー機能の説明

フリーにしても前輪とペダルと一緒に回転する場合がありますが、ペダルを手でおさえた状態で前輪が回転すれば異常ではありません。フリー機能はペダルがステップなどに当たっても三輪車が不意に止まってしまうたり、お子様がペダルとステップの間に、万が一足を挟んでも怪我をしないようにするための機能です。

#### 必ず確認してください。

- ステップを取り付けてご使用の際は、必ず前輪のロック＆フリー機能をフリーにしてください。ロックにしたまま使用するとペダルがステップにあたり、ステップが破損する恐れがあります。

#### 警告

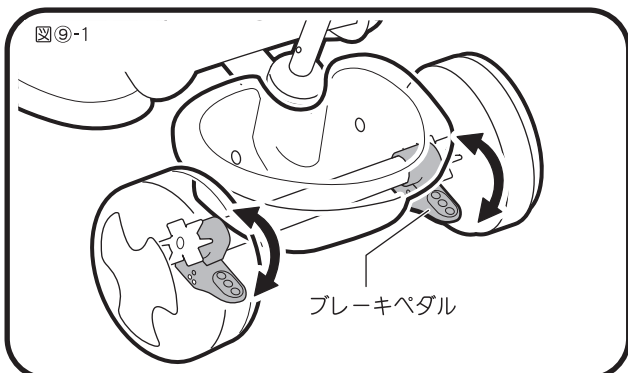
- ロックの状態でもコントロールバーの操作はしないでください。お子様の足を巻き込む恐れがあります。
- お子様が三輪車に乗った状態でのロック＆フリーの切り替えは危険です。お子様を三輪車から降ろして、切り替え操作を行ってください。
- 坂道での使用は三輪車が自然に動き出すことがあるので避けてください。

#### 注意

- ロック＆フリーの切り替えは、保護者が行ってください。
- ご使用になる前は、必ずロック、フリーの確認を行ってください。
- 水たまりでの使用や雨ざらしでの保管は避けてください。前輪に水がたまる場合があり、故障の原因になります。

## 9 ブレーキの取り扱い

図9-1



- ・ブレーキをかけたいときは左右のブレーキペダルを下げてください。
- ・ブレーキを解除したいときは左右のブレーキペダルを上げてください。

#### 警告

- 三輪車の走行中にブレーキをかけないでください。転倒や故障の原因になります。ブレーキの操作は必ず停止した状態で行ってください。
- お子様を三輪車に乗せたときはブレーキを過信しないでください。ブレーキをかけても動き出す恐れがあります。
- ブレーキを操作する際は必ず左右のペダルを同じように操作してください。左右が揃っていないと正常に動作しません。

#### 注意

- ブレーキの上げ下げは保護者が行ってください。
- 三輪車を動かす前に必ず、ブレーキが解除されていることを確認してください。ブレーキをかけたまま走行すると故障の原因になります。

取扱説明書にそって三輪車の組み立てが完了しましたら、以下の最終チェックを行ってください。  
(※お子様が三輪車に乗っている状態でチェックしないでください。)

## ✓チェック【後輪】

☐  
☐

- ①両方の後輪を引っ張り、フレームから外れないことを確認してください。
- ②ホイールキャップがきちんとはまっていることを確認してください。

## 【ハンドル】

☐  
☐

- ③ハンドル金具の上面とヘッドピンの間に隙間が空いていないことを確認してください。
- ④ヘッドピン下の先端の溝にハンドルストッパーが取り付けられていることを確認してください。

## 【ノブナット】

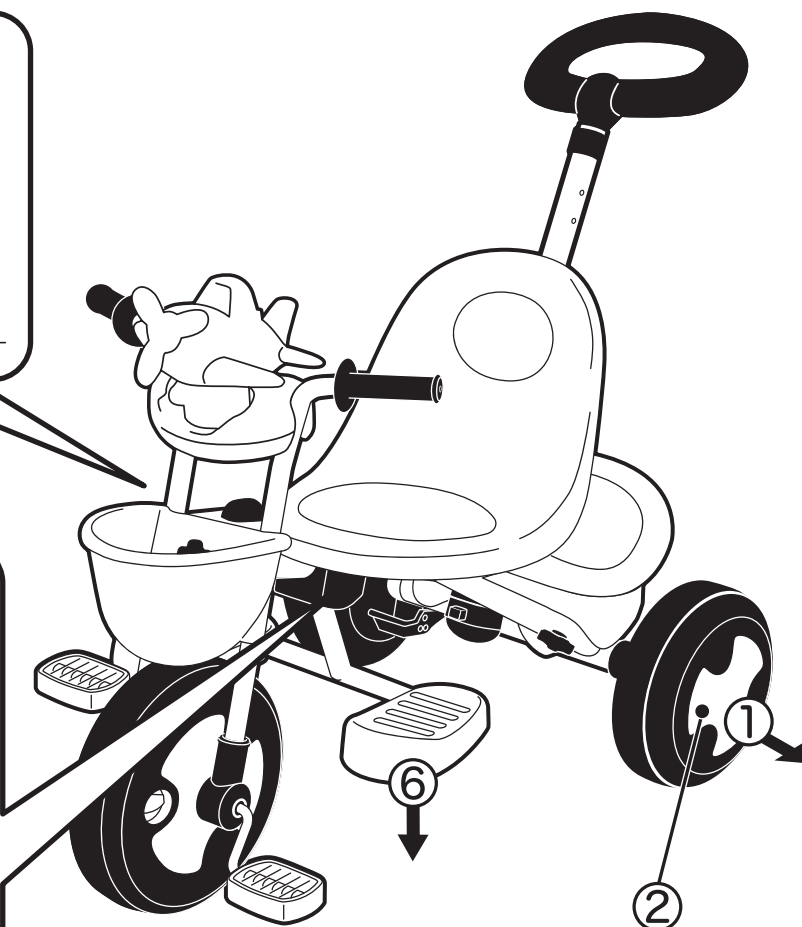
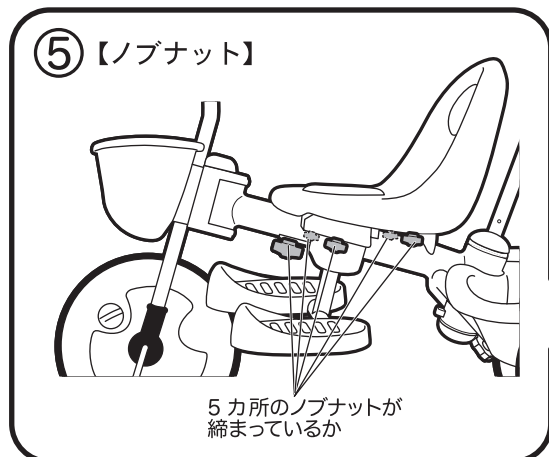
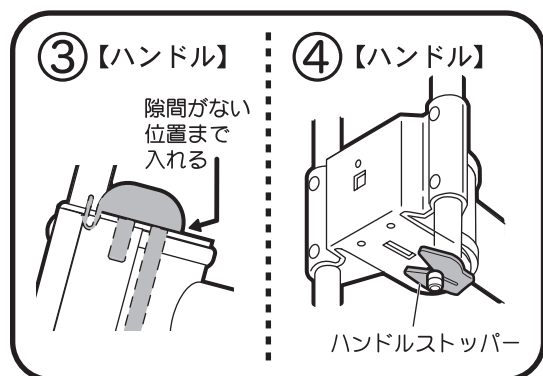
☐

- ⑤サドル下の4カ所のノブナットがしっかり締まっていることを確認してください。

## 【ステップ】

☐

- ⑥ステップを上から押して、外れないことを確認してください。



## 【コントロールバー】

☐  
☐

- ⑦コントロールバーのピンが穴から出ていることを確認してください。
- ⑧コントロールバーを上方向に引っ張り、抜けないことを確認してください。

## 【前バスケット】

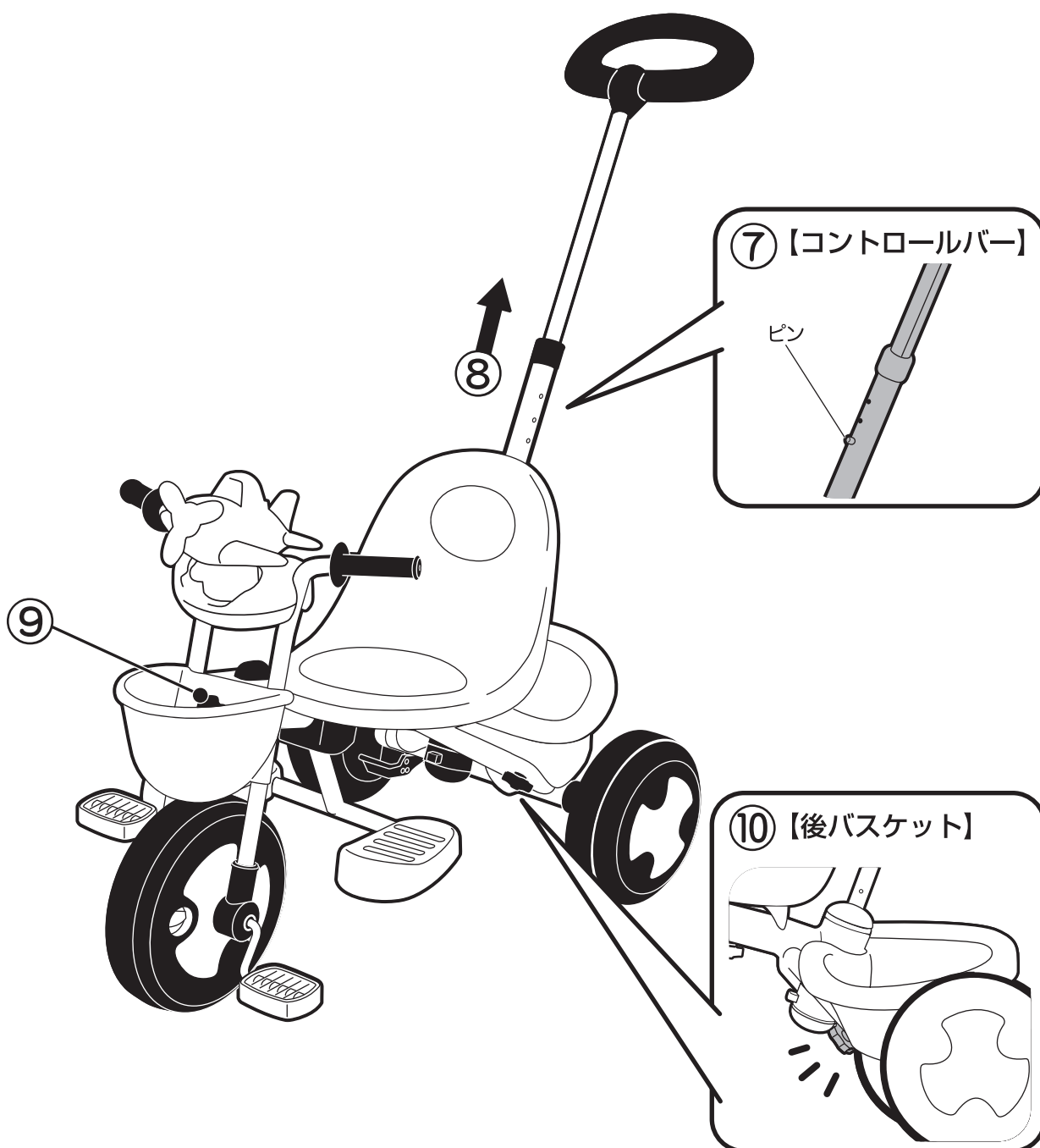
☐

- ⑨ノブネジが締まっていることを確認し、前バスケットが外れないことを確認してください。

## 【後バスケット】

☐

- ⑩ノブナットが締まっていることを確認し、後バスケットが外れないことを確認してください。



# 品質保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中商品の故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お客様相談室にお問い合わせください。

### 保証規定

- 1. 一度ご使用になった商品は、お取り替えできません。
  - 2. 保証期間中(お買い上げ日より1年間)に正常な使用状態において、万一故障した場合には無料で修理、または部品の交換を致します。
  - 3. 保証期間内でも次のようなものは有料修理になります。
    - (a) 消耗品(タイヤなど)。
    - (b) 本体およびプラスチック部品の自然劣化による変色。
    - (c) お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障および損傷。
    - (d) お客様が紛失された部品。
    - (e) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変による故障および損傷。
    - (f) 本書にシリアル No.、お買い上げ日、お客様名、ご住所、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
    - (g) 本書の提示がない場合。
    - (h) 一般家庭以外で、業務用やレンタルなどでご使用され故障した場合。
    - (i) 有料修理の場合に要する運賃などの諸経費。
    - (j) リサイクルショップ等で購入された場合。
  - 4. 本書は日本国内にのみ有効です。海外からの修理サービスは致しかねます。
  - 5. 製造中止後の商品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないこともあります。
- お買い上げ後、シリアル No.、お買い上げ日、お客様名、ご住所、販売店名をただちにご記入願います(シリアル No. は、サドル下部のフレームに明記してあります)。
- 万一故障が生じた場合は保証書をご提示ください。本書は再発行致しませんので大切に保管してください。
- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社お客様相談室、またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

商品名	シリアルNo.	保証期間
かじとりトライク ディズニー/プレンズ		お買い上げ日より1年間 (ただし保証規定による)
お客様	お名前	お買い上げ日 年 月 日
	ご住所 〒	
販売店	TEL.	
	店 名 住 所	
	TEL.	

●万一商品に不都合がございましたら、お手数ですがシリアルNo.をお確かめの上、お客様相談室までご連絡ください。

**アイデス株式会社** 【お客様相談室】 〒279-0032 千葉県浦安市千鳥10-11濃飛倉庫運輸内2F ☎0120-511457  
受付時間(祝祭日を除く月～金曜日) 10:00～12:00 13:00～17:00